

# 会議結果のお知らせ

会議の名称	令和4(2022)年度 第3回 栃木県ケアラー支援に関する有識者等意見交換会
会議の公開について	<input checked="" type="checkbox"/> 公開・非公開（非公開の理由）
<p>( 概要 )</p> <p>1 日時 令和4(2022)年10月25日(火) 18時00分から19時30分まで</p> <p>2 方法 オンライン開催</p> <p>3 出席者 全16名のうち、以下15名(50音順) 青木委員、青柳委員、大石委員(会長)、大橋委員、児玉委員、小林委員、齋藤委員、首長委員、庄司委員、五月女委員、仲田委員、増渕委員、増山委員、山下委員、依田委員</p> <p>4 議事 (1) 栃木県ヤングケアラー実態調査結果について (2) 市町におけるケアラー支援に向けた取組状況について (3) ヤングケアラー支援に向けた今後の取組の方向性について</p> <p>事務局から、実態調査結果や市町の取組、今後の方向性について説明した。</p> <p><b>【意見交換会全体を通しての委員からの主な意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>各学校のアンケート結果をフィードバックと、市町単位で集計をお願いしたい。</li><li>アンケートの結果に基づいた対策をして、実際にケアを必要とする子、救ってあげなければいけない子どもたちを救わねばならない。</li><li>ヤングケアラー支援に当たっては、スクールソーシャルワーカーを市町に偏りなく配置させていくのが、大きなポイント、支援策になるのではないかと。</li><li>ピアサポート団体をサポートしていただきたい。</li><li>地域住民等の力は非常に大切。ケアラーについて全体像の啓発ももちろんだが、地域住民に対してこんな役割が期待できるといったことを含めた啓発活動が必要。</li><li>今、国では、重層的支援体制整備事業を推進している。県としてひとつのモデル的な事例を提示していただきたい。</li><li>まず、先生方にヤングケアラーのことを知ってもらうことが大切ではないかと。</li><li>学校が、早期発見する中で、どういう子がヤングケアラーに該当するかということに加えて、相談した際に、どういう条件、どういう家庭の場合には、どういった支援があるのかといったことも、ある程度分かっていると良い。</li></ul>	
問い合わせ先	栃木県保健福祉部保健福祉課地域福祉担当 (栃木県ケアラー支援に関する有識者等意見交換会事務局) 電話 028-623-3047 FAX 028-623-3131